

平成26年度第1回岩手県後期高齢者医療広域連合運営協議会 開催結果概要

- 1 開催日時 平成27年2月6日（金）午前10時00分から午前11時05分
- 2 開催場所 岩手県水産会館 5階大会議室
- 3 出席委員 工藤委員、久慈委員、松本委員、黒澤委員、小野寺委員、菅原委員、岩動委員（代理）、佐藤委員（代理）、大谷委員（代理）、細江委員、根子委員
- 4 傍聴者 4名

5 会議の概要

（1）説明

次の事項について、事務局から説明した。

ア 後期高齢者医療制度の動向について

イ 岩手県後期高齢者医療広域連合の運営状況について

（2）主な意見等

【委員】岩手県の後期高齢者の医療費は安いけれども、全国的な総医療費は上がっている。あと10年も経つと医療費が40兆円から60兆円になるので、それぞれが負担しなければやっていけない話だと思う。高齢者の方が1人1人健康に対して努力するのも重要だが、地域であつまって毎日みんなで運動するということができるのであれば、医療費の抑制につながると思う。それからもう一つ、「働く」というのが医療費の抑制には効果大きい。元気だから働き、働くから元気になる。

【委員】「いきがい」の中で、仕事しながら医療費の軽減に役立てればいいのではないかなと思う。

【委員】これから後期高齢者への支援金が増えてくるので、一保険者としてなんとか対応しなければならない。医療費の削減など求められるものをやっていかなければならないのですが、なかなか難しいのも確か。いろいろと考えながら、保険者としてよりよく運営していきたい。

【委員】後期高齢者医療制度については当面この制度で行くということではあるが、国の動きの中でまだ細かいところでわからないところがたくさんあるので、動向には今後注視していきたい。

【委員】市町村ごとに健診の受診率に開きがあるが、自分が医療機関にかかっているので不要だという人もいれば、自分は健康に自信ありますという方もいる。そういった意識の差が、市町村ごとの健診率の大きな差になっているのではないかな。